

科目名		身体障害評価学実習Ⅱ			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
身体障害分野における作業療法評価の目的や技法を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
作業療法で用いられる評価や検査測定手技を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
①一般的な評価の流れを理解し説明が出来るようになる。									
②検査・測定に必要な知識を理解し、実施できるようになる。									
③評価結果を統合解釈できるようになる									
回数	講義内容								
1	ROM評価の振り返り・実際の測定								
2	ROM評価の考察方法								
3	MMTの実際								
4	感覚について 検査方法								
5	中枢神経、末梢神経の感覚検査の違い								
6	腱反射、実際の検査方法								
7	病的反射、実際の検査方法								
8	筋触診、疼痛の考察								
9	姿勢反射の評価法								
10	協調運動、検査方法								
11	脳神経の評価								
12	脳卒中とは								
13	脳画像の分類、症状の違い								
14	BRS評価、判定								
15	上田式上肢機能検査								
16	FMA評価、判定								
17	SIAS評価、判定								
18	脳卒中の評価方法								
19	脳卒中の評価内容								
20	症例検討①								
21	症例検討②								
22	症例検討③								
23	症例検討④								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

作業療法評価学で予習、実技の練習

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法評価学 第4版	能登真一	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする